

けいせん

議会だより

第44号

一般会計・特別会計決算審査結果報告

令和4年度桂川町一般会計及び各特別会計決算認定について、9月5日・7日・8日の3日間審査した結果、次の通り意見を付して認定することに決定しました。

審査意見《財政状況について》

令和4年度の普通会計の実質収支は、2億9千万円の赤字です。また、当該年度中の基金の積み立てや取り崩しなどの要因を考慮した実質単年度収支についても、1億9千万円の黒字となっています。この実質単年度収支の黒字が続いていることから、財政運営は全体として安定していると思われまます。

《一般会計決算について》

1、歳入

町税等の収納については、税務課収納対策室を中心に一体的な収納体制が進められています。結果、町税を始め国民健康保険税や保育料等、町の債権全般についても良好な収納状況を高く評価します。

2、歳出

創意工夫を重ねた施策や費用対効果を考慮して、健全かつ透明な行財政運営に努めてください。

《特別会計決算について》

○住宅新築資金等貸付事業特別会計

○土地取得特別会計

○国民健康保険特別会計

○後期高齢者医療特別会計

ともに問題ありません。



水道事業会計決算審査結果報告

1、経営状況について

令和4年度の水道事業における総収益は2億1千万円、これに対する総費用は1億9千万円で、当年度の純利益は2千万円となっており、水道事業として引き続き良好な経営状況が保たれています。財務状況においても健全性が確保され、水道料金等の収納状況についても良好な収納率が継続されています。

2、安定供給について

土師浄水場に広域監視システムとしてクラウドシステムが導入されています。このことにより、浄水場の運転状況や河川の水質変化状況などを随時確認することが可能となり、異常事態に早期に対応することで安定した水道水の供給が持続されます。今後とも、水道水の安定供給に備えた対応を望みます。

3、課題について

次のような厳しい現実の課題に直面しています。

- 経年劣化による施設や管路の老朽化
- 水源地の有効活用
- 浄水場施設の新設計画・財源確保

むすび

水は生命の源であり、町民の生活に欠かすことのできないものです。今後とも、「安全かつおいしい水」の提供に努めるとともに、課題に対して十分な対策をとっていただきますよう強く求めます。

一般質問（9月定例会）



吉川紀代子議員

自衛隊への情報提供について

問 令和5年度、自衛官募集に該当する年齢の人数は。

答 (住民課長) 18歳は99人、22歳は110人。

問 除外申請の周知と申請方法は。

答 (住民課長) 除外申請の制度は設けていない。

問 現在、情報提供はどのように行っているのか。

答 (住民課長) 住民基本台帳の一部(写し)の閲覧による。

問 防衛省から紙や電子媒体での、自衛官募集対象者名簿提

供要求に対しての町長の見解は。

答（町長） 従来どおりの情報提供をしている。適切な対応と認識している。

社会的弱者対策について

問 地域公共交通会議の審議状況は。

答（企画財政課長） 本年度は書面会議と対面会議を1回ずつ行い、書面会議では令和5年度地域公共交通会議の予算、対面会議ではアンケート調査の設問内容について審議。

問 社会的弱者に対して、タクシー乗車券の助成を。

答（町長） 6月議会の答弁と同じ考えで、地域公共交通会議の中で議論されるものと認識している。

問 桂川駅前にATMの設置を。

答（建設事業課長） ATM設置の協議は可能だが、町の負担が発生することは避けら

れず、特定の銀行のATM設置費用を町の財政から支出することは現状では難しい。

大将陣横の産廃処理施設建設予定について

問 施設の種別は何種類か。

答（保険環境課長） 計画届によると、乾溜ガス化燃焼方式焼却炉の1種類となっている。

問 それぞれの1日当たり専焼能力は。

答（保険環境課長） 資料によると1日当たり汚泥20トン・廃油22トン・廃プラスチック類42トンとある。

問 現在行われている環境調査とは。

答（保険環境課長） 本年2月に冬季の大気質調査、5月に騒音・振動・交通量調査を実施、7月末に夏季の大気質調査及び悪臭の調査が実施された。

教育環境の改善・充実について

問 各学校体育館にエアコンの設置を。

答（学校教育課長） 夏場の学校体育館における活動においては、熱中症対策を行いながら授業を実施しているため、今のところ、体育館にまでエアコンを設置する状況にはない。

問 中学校給食時間の改善を。

答（学校教育課長） 各学校において実態に応じた時間設定を行うように伝えている。



大塚和佳議員

大将陣横の産廃廃棄物施設の建設計画について

問 敷地内の水路変更申請があった場合、今後の対応は。

答（町長）申請が出てくれば慎重に対応していく。

問 町民は、施設の規模や処理する種類による環境被害等を不安に思っている。業者に対して住民説明会の働きかけは。

答（町長） 大きな問題であるので、今後働きかけをしていく。

指定管理者について

問 メリット・デメリットは。

答（企画財政課長） メリットは、民間事業者等のノウハウを活用することによる住民サービスの向上や、競争原理に基づく自治体の経費節減効果。

デメリットは、自治体の施設運営意識の希薄化や、経費節減の過剰な追及による住民サービスの低下、管理者交代に伴うサービスの質の変化等。

問 県内の状況は。

答（企画財政課長） 本町と他2自治体が未実施。飯塚市は約30施設・嘉麻市は約20施設で導入。

住民票等のコンビニ交付について

問 飯塚市と嘉麻市の状況は。

答 (住民課長) 飯塚市は平成28年度・嘉麻市は令和5年1月より実施し、住民票・印鑑・戸籍等の証明書を発行。

問 本町の今後の取り組みは。

答 (町長) 検討する。

桂川町誌の取り組みについて

問 今後の作成計画及び完成年度は。

答 (町長) 決定した事項は何もない。

駅舎等について

問 3月議会の行政報告の中で、JRの社内規定において、待合室の設置をするには駅ホーム幅が足りないとのことだったが。

答 (建設事業課長) 現在のホーム幅は4.8m。ホームの中に施設を設置するには、両側の通路幅を片側1.5m確保する必要があるので、社内規定があるた

め、待合室等の施設幅を1.8m以内にしなければならず、以前の待合室の幅が2.3mなので、これよりも0.5m狭い待合室にしなければならず、設置が難しい。

問 3月議会の町長の回答では、来年の3月までには観光案内図等の取り組みをすることのことだったが。

答 (建設事業課長) サイン計画として桂川駅周辺をはじめ桂川町全体を視野に検討しているが、3月末までには、わかりやすいサイン看板設置の検討を進めていく。

※文字数制限のため「防災対策等」「桂川町地域公共交通会議」については未掲載



杉村明彦議員

污水处理事業について

問 桂川町の污水处理の現状は。

答 (保険環境課長) 污水处理に関しては、汲み取り・合併処理浄化槽等にて実施している。水洗化の普及率は令和3年度で、47%となっている。

問 普及率が50%以下なので、遠賀川上流域の自治体としてはもつと合併処理浄化槽を推進するべきでは。

答 (町長) 本町の普及率は低い状況にある。更なる推進のために本町独自の施策について検討したい。

問 産業振興課で行われている住宅改修事業補助金と合併処理浄化槽補助金の併用はできるのか。

答 (保険環境課長) 産業振興課の住宅改修補助金要綱第2条では、合併処理浄化槽の改修・設置に関するものは補助事業の対象外となっている。

要望 生活環境保全及び公衆衛生の向上を図るために、老朽化した浄化槽などの更新や修繕に対して補助金制度の創設を要望する。

空き家対策について

問 長年放置され、荒れ果てて、まったく管理が出来ていない空き家や、所有者すらわからない空き家がある。

隣近所から苦情があった場合、どのような対応をしているのか。

答 (建設事業課長) 固定資産情報等で所有者及び管理者を確認し、文書通知や電話連絡等で問い合わせを行い、隣接者に迷惑をかけないよう指導等を行っている。

問 指導しても強制力はないため、なかなか状況が改善しない。

空き家条例をつくり、適切な管理をするべきでは。

答 (建設事業課長) 空き家対策については、空き家対策特別措置法により市町村には立ち入り調査・指導・勧告・命令する権限等が与えられている。

今年度、空家実態調査を行なっており、周辺に迷惑をかける可能性が非常に高い「特定空家」など、老朽化の程度を1件ずつ確認している。

法令に基づいた空き家の適

正管理を指導できるよう進めていく。



柴田正彦議員

大将陣公園横に計画されてる産業廃棄物処理施設について

問 近隣市では、どのような産業問題があったのか。

答 (町長) 飯塚市の内住地区で、産業廃棄物が埋め立てられ汚水が流れ出し、流域の健康被害につながるのではないかと懸念から、県も一緒になって廃棄物を取り除いた。嘉麻市では、ごみを規定以上に積み重ね、そこに火が入り、消し止めるまでに時間がかった。汚水が近隣の川に流れ出し、流域全体の健康被害が心配された。

「対岸の火事」ではなく、このような事案に学びながら取り組んでいく必要がある。

問 飯塚市の6月議会で、片峯市長は次のように回答された。

「当該地は、桂川町にとってスポーツ施設に隣接している所。本市にとっても公園のすぐそばであり、グラウンドゴルフ場を計画している所。」

そういう場所なので、民間のすることとは言え、非常にゆゆしいものだ。」

片峯市長は産廃施設ができることを「非常にゆゆしい」と言われている。井上町長の考えは。

答 (町長) 片峯市長と同じ。

問 産廃施設の予定地は、桂川町・飯塚市にとって、健康づくりの拠点であり、文化的活動の拠点。そこを大型車が通り、産廃処理が行われる。

片峯市長は、「当該地は桂川町。しかし、隣接地である本市も、意見を述べる責任と権利がある。桂川町と情報共有を図り、特に計画立ての段階で後手に回らないように今後しっかりと対応したい」と言われた。

現在、情報共有を行っているのか。

答 (保健環境課長) 行っているし、今後も行っていく。

問 片峯市長は「計画立ての段階で後手に回らないように対応したい」と言われているが、町長の考えは。

答 (町長) 同じ考え。私たちが知らないうちに、計画だけが先行するということがありえると警戒している。

意見 議会・行政・町民が一緒に知恵を出し、情報交換して取り組んで行かなければならない。一緒にやっていきましよう。

※文字数制限のため他は未掲載



○9月定例会の様子は桂川町HP「議会」でご覧になれます。

○12月定例会予定
12月7日(12月15日)
一般質問は12月14・15日

つぶやき

スポーツ界が元気

皆さん、スポーツの秋ですね。今年はスポーツ界が盛り上がっています。

3月の侍JAPANA14年ぶりの世界ナンバーワンに始まり、8月の世界陸上女子やり投げで北口榛花選手はるかの金メダル、男子バスケットワールドカップ3勝2敗で、48年ぶりパリオリンピック出場決定(4年前の中国大会では5戦全敗だったのに…)。

9月の中国杭州で行われたアジア大会でも数多くの日本選手が活躍し、男子バレーボールもパリオリンピック予選B組で2位となりオリンピック出場権を獲得しました。

私大好きラグビーでは、ベスト8を目指して格上のアルゼンチンと戦い、惜しくも敗れましたが、C組3位(2勝2敗)で次回のワールドカップ出場権は獲得しました。

選手の皆さんの頑張りには勇気と感動を与えていただきました。(感謝)

下川 康弘



9月定例会で審議された結果



【議案】	件名	審議結果
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	【同意】 全員賛成
承認第11号	令和5年度桂川町一般会計補正予算（専決第2号）について	【可決】 全員賛成
議案第31号	損害賠償の額を定めること及びこれに伴う和解について	【可決】 全員賛成
議案第32号	財産の処分について	【可決】 全員賛成
議案第33号	桂川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び桂川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	【可決】 全員賛成
議案第34号	令和5年度桂川町一般会計補正予算（第3号）について	【可決】 賛成多数
議案第35号	令和5年度桂川町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）について	【可決】 全員賛成
議案第36号	令和5年度桂川町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	【可決】 全員賛成
議案第37号	令和5年度桂川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	【可決】 全員賛成
議案第38号	令和5年度桂川町水道事業会計補正予算（第2号）について	【可決】 全員賛成
認定第1号	令和4年度桂川町一般会計歳入歳出決算の認定について	【可決】 賛成多数
認定第2号	令和4年度桂川町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	【可決】 全員賛成
認定第3号	令和4年度桂川町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	【可決】 全員賛成
認定第4号	令和4年度桂川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	【可決】 賛成多数
認定第5号	令和4年度桂川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	【可決】 全員賛成
認定第6号	令和4年度桂川町水道事業会計決算の認定について	【可決】 全員賛成
報告第2号	令和4年度桂川町継続費精算報告書について	—
報告第3号	健全化判断比率の報告について	—
報告第4号	資金不足比率の報告について	—
【追加議案】		
議案第39号	財産の処分について	【可決】 賛成多数